

Amir Tsarfati 氏 フェイスブック Q&A② 2018年3月22日公開

【Q-1】ロシアは、「シリア国内で、イスラエルが行ういかなる攻撃にも、“核/化学兵器”で報復する」と言っているようですが、これが、神がご介入され、イスラエルをこのような攻撃から守られる時であると見ておられますか？

【A-1】まず、ロシアが核と化学兵器について言及しているのは、アメリカによる核攻撃への報復に関してだけです。彼らが企んでいるのは、バランス的に、対イスラエルではなく、アメリカ対ロシアです。しかしながら、エゼキエル戦争についての詳細、特に39章をよく読めば、その戦争の中で、従来とは違う武器が使用されることは疑う余地がありません。短期間でありながらも、非常に致命的な戦争になります。では、「神がご介入されるのか？」と問われるなら、聖書はそう告げています。聖書は、主であるイスラエルの神が彼らを打ち負かす、と明確に示唆しています。聖書には、彼らが攻めて来たときのことが19節に書かれています。

- 19 わたしは、ねたみと激しい怒りの火を吹きつけて言う。その日には必ずイスラエルの地に大きな地震が起こる。
- 20 海の魚も、空の鳥も、野の獣も、地面をはうすべてのものも、地上のすべての人間も、わたしの前で震え上がり、山々はくつがえり、がけは落ち、すべての城壁は地に倒れる。

(エゼキエル書 38:19~20)

そして、主がどのように滅ぼされるかが、ここに書かれています。

- 22 わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼の率いる多くの国々の民の上に、豪雨や雹や火や硫黄を降り注がせる。
- 23 わたしがわたしの大いなることを示し、わたしの聖なることを示して、多くの国々の見ている前で、わたしを知らせるとき、彼らは、わたしが主であることを知ろう。

(エゼキエル書 38:22~23)

- 2 わたしはあなたを引き回し、あなたを押しやり、北の果てから上らせ、イスラエルの山々に連れて来る。
- 3 あなたの左手から弓をたたき落とし、右手から矢を落とす。

(エゼキエル書 39:2~3)

このように、エゼキエル戦争全体で、神が超自然的にご介入されることは確実です。

【Q-2】現在、アメリカはイスラエルと手を組んでいて、攻撃の際には介入するでしょうが、アメリカがイスラエルを援護し、今後も援護するとしても、神はご介入されると思われますか？

【A-2】これは微妙な質問です。

「現在、アメリカが非常に強くて、イスラエルの大の味方であるなら、どうしてエゼキエル戦争の時に、アメリカはイスラエルを助けないのか？」

さて、この点から、エゼキエル戦争の時に、アメリカはもはや超大国ではなくなっている可能性が非常に高い、と私たちは推測するのです。では、アメリカがもはや超大国でなくなってしまう理由とは？それには、シナリオがいくつかあります。

- ① 経済破綻。

- ② 戦争。といっても北朝鮮との戦争ではなく、ロシアとの戦争は可能性として高いでしょう。
- ③ しかしながら、最も現実的なものとして私が考えたいシナリオは、教会の携挙によって、膨大な数のアメリカ政権の鍵となるポジションが完全に空洞になり、国が大崩壊することです。

ただ、いつも言っていますが、これらは憶測に過ぎません。ですから私は、私の素晴らしい霊的父親であるチャック・スミス牧師（書記注：1927～2013 カルバリーチャペルの牧師）の教えに従いたいと思います。

「聖書が沈黙していることは、私たちも沈黙するべきだ。」

【Q-3】エゼキエル 38 章の一節が、携挙と大患難の直前であるという考えは、どこから来ているのでしょうか？ 神は、他にもいくつかの戦争で、イスラエルを助けられました。それらは携挙の前ではありませんでした。

【A-3】それは真実です。ただ、問題は、神がイスラエルを助けられた他の戦争では、ロシア、トルコ、イランはイスラエル国境にはいませんでした。彼らは、同盟を組んでもいませんでした。エゼキエル戦争が非常に近いのは、エゼキエルがそう書いているから、というだけでなく、彼が書いたことが全て、すでに私たちの目の前で起こったからです。私たちは、周りで事態が起こっているのを見ています。私たちは、聖書が告げている通りの事が起こるのを見ています。そこで私たちは、一つ一つを照らし合わせて、その戦争が近いことを知るのです。ただ、ご質問にあるように、それが携挙“直前”かといえば、携挙の“直後”かも知れません。携挙によって、アメリカが崩壊し、そしてロシアが動き出すこともあり得ます。ですから、エゼキエルが、携挙の直前であるとか、直後であるとか、私は、断定はしません。ただ、アメリカがそこにいない可能性として、政治的理由ではほぼあり得ないでしょうから、高い可能性として、戦争や自然災害や経済崩壊、もしくは携挙、何か大惨事な事がアメリカに起こるのでしょうか。それは皆さんの想像にお任せしますが、事実として、エゼキエルによれば、アメリカはイスラエルを軍事的に助けません。少なくとも、エゼキエルの記述には、他の諸国がイスラエルを助けるとは、どこにも書かれていません。そうして、神が全ての賞賛と栄光を受けられるのです。

【Q-4】私の信頼しているニュースサイトによれば、“アッバースが退くまで、和平案は提示されない”と言われていますが、それについて何かご存知ですか？

【A-4】イスラエルもアメリカも、アッバースが深刻な癌を患っていることは知っています。彼は現在、癌と闘っています。問題は、彼の後を引き継げる者、平和をもたらすという責任を担える者が、誰かいるようには思えないのです。パレスチナはこの 70 年間、ずっとあらゆる和平案を拒んできました。それは、彼らが平和を望んでいないためではなく、彼らが平和と引き換えにしなければならない代償が、彼らには耐えられないためです。彼らは、彼らが「自分のものだ」と主張する国の三分の二が、「自分たちのものではない」と宣言しなければなりませんから。それだけではありません。彼らには、彼らの領土ではなく、イスラエルに入ることとを要求している、何百万人というパレスチナ難民に対する責任もあるのです。ですから、彼らはいかなる和平案も受け入れません。ですから私は、パレスチナとイスラエルの和平は、それそのものだけでは成立するとは思いません。もしパレスチナが合意せざるを得ない、究極の協議があるとすれば、ただ彼らだけでなく、さらに大きなものでしょう。サウジアラビアや湾岸諸国といった、アラブの大国が介入して大きくなるのです。それにエジプトとヨルダンが加われば、既にかかなりの少数派になります。

【Q-5】 今は、異邦人の時の終わりに来ているのでしょうか？それは、何を意味していますか？

【A-5】 私は、来ていると思います。異邦人の時とは、イスラエルがメシアを拒絶した結果として、おもに異邦人に対して、神が扉を開かれた期間です。そしてこの二千年の間、異邦人には、主を受け入れる機会が与えられていたのだと、私は思っています。私たちが見ている事には二つあって、

- ① 異邦人がイスラエルの地と、エルサレムの都を支配するという、ネガティブな意味
- ② そしてもう一つの側面は、異邦人に対して、福音を受け取るための扉が開かれているのを、私たちは見えています。それがローマ書 11 章が告げていることで、「まず異邦人の時が来て、イスラエルの全家が救われる。」（ローマ書 11:25~26 参照）。

ただ、それが変わりつつあるのです。私たちはイスラエルが、その地と都の支配を取り戻したのを見えています。そしていずれ、異邦人の扉が閉じられるのを見るでしょう。そうすると神は、その目をイスラエルに戻されます。ですから基本的には、教会の携挙が、異邦人全体が自由に堂々と主を受け入れる、最後の瞬間となるのかも知れません。考えてみてください。どういう人たちが残されると思いますか？メシアを信じず、拒絶した異邦人たちです。「自分たちには関係ない」と言った人たちです。

と言うと、皆さんは言うかもしれません。

「イスラエルだって、彼を拒絶したじゃないか。」

そうです。ただ、イスラエルと異邦人の違いは、少なくともローマ書 11 章によれば、サタンではなく、神が、盲目にされた国は、イスラエルだけです。

8 …「神は、彼らに鈍い心と見えない目と聞こえない耳を与えられた。…」

（ローマ書 11:8）

と聖書は告げています。その同じ神が、全世界を愛しておられ、イスラエルのかたくなで頑固な性質をご覧になり、彼らを盲目にされたのです。それによって、他の諸国が彼を受け入れることが出来るようになります。しかし、終わりの時、扉が閉じられる時は、やって来ます。その時には、神はイスラエルに対処されるのです。それが大患難の 7 年間です。事実、前半の 3 年半は試練の時、後半の 3 年半はヤコブの苦難の時です。その時は、ユダヤ人の上に非常に困難が襲うでしょう。そうして最終的にイスラエルは、メシアを受け入れるに至るのです。これは、受け入れがたいことだというのは分かりますよ。多くのユダヤ人クリスチャンでも、たやすくは受け入れられないのです。しかし、聖書は明確に示唆しています。

- ① 神はイスラエルを見放してはおられません。
- ② メシアを拒絶した結果として、多大な苦しみが襲います。
- ③ ゼカリヤ書 13 章を読めば、イスラエルの三分の二が滅び、残りは、神が彼らを火の中に入れ、銀を錬るように彼らを練られるのが分かります。

このように、聖書が告げる通り、イスラエルの全家が救われる、と私は信じていますが、ただ、先に、イスラエルの三分の二が滅びるのです。そして、肉体的に大患難を生き残り、メシアが戻って来られる時、そこにいるのは残りの三分の一です。